

歸郷した時に、父から、此際よい機会であるから、二郎と一雄に参り、其御禮の御挨拶を申し上げたり、御高教を仰いたり、併せて杉田村従軍記念誌の、題字を御願

### 内郷村報の 六大使命

- 一、政黨政治を超越して、地方主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總統和總努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の慈善活動を奨励し、且之を奨励す。
- 五、本村と本村関係者及本村関係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、餘餘方を以て、國民教育に當る。

# 内郷村報

天法人則  
從人順ナ  
ルベシ

## 代議士の子孫と 市町村議選舉

大内民惠

近頃記者の許へ、炭礦で働きたいといつて來た一青年があつた。だん／＼其身の上話を聞えて見ると、其祖父は、明治から大正にかけて、某縣選出の代議士であつたといふことである。そこで記者は、其青年に向つてそんなら君の家は、其村の素封家であり、又相當の資産もあつたのであらう。而してお祖父さんは、すつかり其をなくしてしまつたのであらうと云つたら、彼は大きくうなづいて、其通りなのです、祖父さへ政治運動などをやつてさへくれなかつたら、我一家は何も困る様な事もなく、立派に祖先の祭祀も出來、私なども相當の教育をうけさせられて、今頃はとうに何とかなつて居る事だと思ひます。故郷のお墓に行つて見ると、祖先以來の大きい立派な石塔が立ち並んで居ます。其

中に、前衆議院議員の肩書を有する、朽ち果てた祖父の墓標が淋しく残つて居ります。目下の我一家は、其に代へる小さい石碑をさへ建て、あげる事も出來ないのです。山林田畑は申すに及ばず、村で一番廣かつた宅地も邸宅も、すべて人手に渡り、それこそ犬にうちつける土の一塊もなく、兩親をはじめ、我々もかくの通り、他郷にさまよふて居る様な、お耻しい次第なものです。それは祖父在世中は多少なりとも、國家の爲にも、地方の爲にも、なつたものでありませうが、我々子孫にして見れば、國家も地方も大切ではあるが、先づ以て一家をよく治めて、然る後に其餘裕をもつて、公共に奉仕してくれたならば、どんなにかよかつたではなかつたかと、歸らぬ事ではあるが、しみ／＼と考へる

## 探炭夫募集

- 一、各坑を通じて數百名募集す
- 二、十六歳以上四十歳以下、身体検査人物考査の上採用す
- 三、紹介者には薄謝贈呈の規定あり

## 警城炭礦々業所

調子で、虚榮心、名譽心が之に拍車をかけ、敢て手段を撰ばず底の、猛烈なる運動によつて、所謂榮位をかち得やうとあせり、苦しくなる例の利権あさりをするへ始め、結局一家の破産は申すに及ばず、縲紲の辱をさへうくるに至るものさへ多いのである。代議士も多からぬが、毎年歳費を差押へられる者の夥しい事、如きも、彼等の生活の一端を物語るものである。之を要するに、實力もなく、徳

せられますと、涙ながらに述懐するのであつた。

右はたゞこれ、一代議士の孫の身の上ではあるが、廣く一般を見渡すに、かうした例は、決して少くはない。の爲に美田を買はずの、一意専心、奉公の至誠を致し、勳功赫赫、盛名を竹帛に垂れられる人士も、決して少くないのであるが、其多くは、強い自惚心から、乃公出でずんばといふ様な

望む者が、金や運動で地位を得やうとする處に、大きい無理があるのである。桃季言はず、下自ら蹊をなす、力と徳とさへあらば、必ずや勞せずして、人から推舉せらるゝものである。今春の選舉で、當選した四百六十余名の代議士中、選舉違反に問はれて、失格せんとするもの、七十名と稱せられて居る。此等の者が如何に法は之を許すと雖も、神聖なる議場に、豫審中の身なるを願みず、憶面もな

派に其職責を全うして居る崇敬に値する人士も、決して少くはないが、又自惚心野心利慾等の權化ともいふべき、前例に擧げた代議士を、小さくした様な徒輩も亦決して少くないと思はれる。今や今年に於けて、全國の市町村會議員改選が行はれんとする。孔子は其國を治めんと欲する者は、先づ其家を齊ふ、其家を齊へんと欲する者は、先其身を修む、といつて居る。苟も地方自治に貢献せんと志

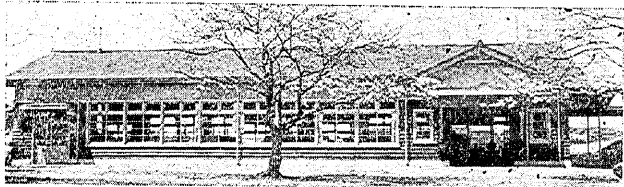
近頃を撰みし哇の母子草  
種物屋すこやかにして老居たり  
雪解烟胡葱の芽のあはれかり  
江連 牛 仙  
具寄風や沙木を拾ふ艇の子等  
日當りのよき出し窓やシクラメン  
一トひれり種物くれてやりけり  
石川 盧 城  
種發煉くるま、に吊しあり  
渡 波 蓮 民  
一鉢のシクラメンな慈しむ  
川俣 石川 正 雄

炭山の麓をきく朝湯かな  
耕機や目に白水の阿彌陀堂  
す人々は、先づ以て須らく其身を修め、其家を齊へ、而して衆望の歸趨如何を見、始め其去就を決すべきであると思はれる。同時に選舉民諸子に於かれても、其身修まり、其家齊へられ、眞に我等の代表たる資格を有する人格者を、推舉するは勿論、斷じて買収や情實等によつて、其意志を左右せらるゝ様な事がない様に豫め冀望いたして置く次第である。

四月二十二日夜

### 全國に名高き 綴驛々舎の改築竣工

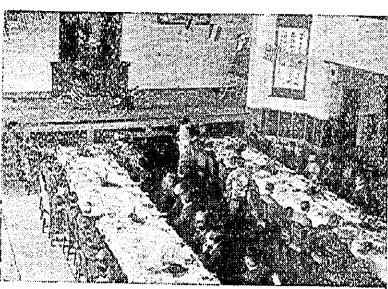
我内郷村の誇とする、石炭輸送驛として、全國に名高き、綴驛々舎は、遠き日鐵時代の遺物で、狹隘其極に達し、年來炭礦界より、其擴張改築を翹望されて居つたが、當局に於ても鑑みることあり、今春二月起工、三月末日に竣工、先月上月より開驛した。因に同驛の生命である貨物取扱数は、一日平均、三百三十三車、四千七百七十四噸發送、二十六車、三百三十六噸到着、其収入は八千五百二十二圓で、一日平均の乗客は五百七十、降客は六百一で其収入は百六十圓であつて



舎々驛綴るたし工竣築改

### 竣工祝賀會

別項掲載の通り、綴驛々舎改築竣工したるを以て、警城入山古河各炭礦贊助の下に、内郷村長沼田濱之助氏主催となり、四月二十七日午後二時より、淺野翁頌徳館に於て、沼田村長の挨拶炭礦側代表菅原所長の祝辭



會賀祝工竣舎々驛綴

### 第三小學校の校長更迭

第三小學校々長柴田正則氏は、一身上の都合により退職したるを以て、其後任として、北會津郡一箕小學校長鈴木重顯氏來任した。

### 校長の歡送迎

別項掲載の如く、第三小學校々長の更迭を見たるを以て、沼田村長、島田學務委員、村内各校長諸氏發起となり、四月二十九日內郷館に於て、盛大なる歡送迎會を開催した。

### 吉田書記表彰

本村役場書記吉田仙治氏は、多年勤続、職務に精勵したる功勞を認められ、四月三十日石城郡町村長支會より名譽ある表彰をうけた。

### 方面事業取扱數

方面委員の取扱ひたる、四月分の件數は左の通りである。生活扶助、法令に依るもの、二四。兒童保護、法令に依らざるもの、四七。相談指導、二一。戸籍整理四。職業其の他の紹介、三二。教化、一一。計一四。カード登録世帯數、第一種

### 厩肥獎勵金交付

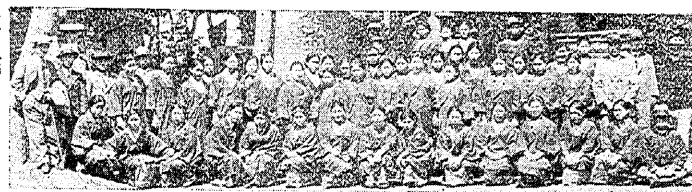
縣では、昭和十年年度厩肥生産利用獎勵金を、二十九人に對して、各五十圓つゝを交付したが、本村に於ては野木力氏其榮譽を擔ふた。

### 消防組員表彰

四月十八日平署管下消防聯合檢閲に於て、優良組員として表彰をうけたる、本組員は左の通りである。伍長野木彌三郎、消防手大越太司馬、吉田房吉、酒井武、蒲生廣、永山源一、山崎五三、青木力、野崎正利坂本政一。以上十名

### 高坂女青遠足の記

武藤 義造  
空は曇り曇り曇つて、日の光も淡い。五月三日、行くか行くまいか、悩んだ末、降る迄行け一人極めして家を出た。驛について見れば皆集まつて居る。顔に曇りはないが、思ひは同じであるまいか。午前七時半一行五十三名驛から汽車に乗つた。車中で大津あたりは只今小雨が降つて居る。言ふの如く、甚だ非觀したが、關本に降りて見れば、案外天氣は晴朗。絶好の遠足日和だ。唐歸山在波波地祇神に詣つる。地獄の底迄さぐくかと思はれる様な、深い井戸があり、其昔ごんなにして掘つたか不思議でならぬ。遙かの彼方に日立の煙突は長く煙の糸を引いて見える。五浦を経て、平瀧に至り、八幡の社前に額つき、義家の古事を偲びながら、勿來の關趾に至る。山櫻の花は眞盛りだ。視界は開け、青い大平洋を隔つて、アメリカの彼方迄も見えそつた。斯くて大氣に酔ひ、一日の歡樂をつくれ、疲れた足を引ずり、勿來驛から汽車にゆられ、四時三十分驛に歸着、些の事故もなく解散した。



念記足遠員會年青子女坂高

### 本紙贊助金寄贈芳名

- 金參圓 内郷綴驛員會
- 金五圓 奈良桑山正靜
- 金參圓 新 濁高井猪吉
- 金拾圓 岩瀬大屋和田與作
- 金壹圓 内郷田中梧樓

### 日本評論社

東京橋本三丁目

### 内郷村報社

### 九州四國一巡記

矢野恒太 大内民惠著 風邪宇之吉 (四六版二一頁 定價五十錢 郵稅六錢)

### 教育制度改革概論

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に迫あらず。味仕り不思議な打撃を打つて申候云々。

### 我國教育學界の權威

前京大總長小西重直博士 書を寄せて曰く、多年ノ御機嫌下賀地ノ御試練ニ基ク眞學國ノ大精神ヲ拜味仕り不思議な打撃を打つて申候云々。

### 發行所

取次所

### 照井正之助氏

へない程の成功であつた。 鑿炭に十有余年勤続したる

### 九州四國一巡記

磐城炭礦 上原四郎

着、其収入は八千五百二十  
二圓で、一日平均の乗客は  
五百七十、降客は六百一で  
其収入は百六十圓であつて

務所長及淺川綴驛長の謝辭  
開宴、余興(水戸神樂)の順  
序で、盛大なる祝賀會を舉  
行し、出席者九十名あつた

相談指導、二一。戸籍整理  
四。職業其の他の紹介、三  
二。教化、一一。計一四。  
カード登録世帯數。第一種

が、思ひは同じであるまいか。午  
前七時半一行五十三名綴驛から汽  
車に乗つた。車中でたれが大津あ  
たりは只今小雨が降つて居る言  
ふの、甚だ非観したが、關本に

金五圓 奈 良 桑山 正靜  
金參圓 新 濁 高井 猪吉  
金拾圓 岩瀬大屋 和田 與作  
金壹圓 内 郷 田中 梧樓

### 矢野 恒太序 大内民惠著 教育制度改革概論

(四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き詰れる現代の教育制度を解體し  
て、學理を實際と、歴史を實際とさ  
ら新に大内民惠九主義を提唱す。天下  
知名の士の賛同枚舉に違あらず。さ  
れど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威  
前京大總長小西重直博士  
書を寄せて曰く、多年の御體験と實地  
の御試練とを基に學界國の大精神と  
味仕り不思議な打撃を申候云々。

發行所 日本評論社  
東京橋本三丁目  
郵次所 内郷村報社

## 九州四國一巡記

磐城炭礦 上原 四郎  
勞務課主任

九州各炭礦、並に別子銅山  
の勞務視察の社命を受けて  
三月十九日に出發して、四  
月九日に歸山した。視察日  
數二十二日、視察した炭礦  
は、杵島、崎戸、三池、新  
入、大之浦、山野、忠隈、  
二瀬、田川、豊國、方城、  
高松、山田の十三炭礦で、  
大馬力をかけて視察を遂げ



上原 四郎 主任

歸途は瀬戸内海より、四國  
に渡り別子銅山並に住友四  
社を視察歸山した。  
視察の目標は、之等先進炭  
礦に於ける勞務管理が、如  
何に行はれて居るか、管理  
の重点は何處に置かれてる  
か、福利施設と能率の關係  
はどんな塩梅についてるか  
等、勞務として重大なる  
問題であつたが、幸ひ各勞  
務係幹部の方々の懇切なる  
説明と、行き届いたる案内  
を受けて、充分視察の目的

を達し、非常なる参考とな  
り、多大なる啓蒙を受けた。  
兎に角この炭礦でも、職員  
並に従業員が、真に一致協  
力、打つて一丸となり、産  
業報國の大旗を擧げて、成  
績の向上に全力を傾注して  
居る有様が、あり／＼と見  
受けられ、洵に敬虔の念に  
打たれたのである。特に従  
業員の知育、德育、体育の  
陶冶訓練には、従業員自ら  
精進努力を致し、眞に優秀  
なる産業人たらんことを期  
待して邁進して居る。従つ  
て其の成績は、總ての方面  
に表れ、社業は益々發展し  
従業員福利は増進せられ  
各炭礦とも和氣満々たる平  
和境を現出して居る有様は  
實に羨望の次第であつた。  
吾れ／＼は此の麗はしい勞  
資の有様を視て、氣分も朗  
かに、實に愉快に視察を終  
ることが出来た。

勤勞教育懇談會  
四月四日淺野翁頌德館に於  
て、勤勞者教育中央會主催  
各炭礦、磐城セメン各支部  
より、勞務擔者及勞務者二

十二名會同、本部内野章、  
三橋昌訓兩氏司會の下に、  
常磐地方勞務者の特色外數  
項に關する、頗る有益にし  
て意義ある懇談を行つた。

山神祭  
本年の山神祭は、四月二十  
一日二十二日の兩日にわた  
り、内郷、高坂、綴の三社  
に於て舉行せられた。稀有  
の祭典日和で、各種の餘興  
も一層に賑ひ、山を擧げて  
の觀樂であつた。

役付觀櫻會  
平松ケ岡公園觀櫻會の大家  
華陣として、例年地方の呼  
物とされて居る、磐城役付  
聯合大觀櫻會は、四月二十  
三日午後二時より舉行せら  
れた。之に参加した團體は  
安全委員、消防伍長以上、  
親和會世話役、温友會幹部  
勞務課員、青年會幹事長以  
上、修養團支部幹事、健康  
保險組合議員、在軍班長以  
上、勤勞者教育中央會支部  
幹部、各坑係主任以上、特  
別來賓等四百二十余名の大  
衆であつた。

音樂部 演奏會  
五月三日正午より、淺野記  
念館に於て、音樂部披露演

奏會があつた。總務井上部  
長、副總務高萩幹事長、樂  
長松江講師、進行係伊藤幹  
事、樂譜係富樫、接待係關  
五十嵐、舞臺係荒木、木田  
の役割に於て、絃樂に、舞  
踊に、獨唱に、生まれてわ  
すか五ヶ月の音樂部とは思

本村副業として  
養兔は有望なり (中)  
内郷村技手 赤津 平 男

生後六ヶ月になれば、毛生充實  
するも、毛皮は十二月から翌年二  
月頃迄の酷寒期が最も優秀で、此  
の時期に屠殺処分する。此の以外  
の時期、殊に夏毛は粗悪で價格も  
安く、處分に困難であるから、成  
るべく避けなければならぬ。  
生産品は運賃の關係もあるから  
商品化し、即ち「ナメシ」皮とし  
販賣するが、生兔を取引するより  
有利である。けれども各戸で屠殺  
剥皮する事は困難であるから、今  
年から、農會と青年團產業部に於  
てやる事にした。  
乾皮にするには、剥皮後毛面を  
裏にして、釘を以て板に張りつけ  
て、充分乾燥せしむる。此の際、  
脂肪血脈等の付着物は十分除去し  
原形より引き引き張らぬ様、長方  
形に釘張する。  
兔肉の需要は、東京大阪の大部  
市を始め、殊に陸海軍省糧秣廠で  
は、近時著しく増加し、地方でも  
亦相當消費する。  
昨年の相場は、白兔皮一枚一圓  
程度で、生肉は百斤十五圓内外で  
あつた。一匹が一圓乃至一圓五  
十錢に販賣出来た。  
然るに近來、悪辣極りなき商人  
が跋扈し、生産者から散々安く踏  
み倒し、巨利を貪つてゐる者が多  
い爲に、折角懸命に養兔始めて

も、利益がないので中止するの  
が多いのである。  
今年から農會の手で、帝國農會  
販賣所(東京丸の内)に、相  
場を其の都度問ひ合せ、會計を經  
て陸軍省へ、相當數をまとめて、  
販賣する計畫である。  
過般農林省へ問ひ合せた處、陸  
軍省を始め、信用して取引出来る  
商人を知らして呉れた。其の二三  
を記して見様  
東京市京橋區中橋廣小路四  
福井 菊次郎  
東京市淺草區龜岡町二ノ四八  
上原 敏雄  
横濱市中區三丁目 相原 敏雄  
(其他八名)  
尙注意せねばならぬ事は、近時  
「レッキス」チンチラ「アンゴラ」  
等、非常に有利の如く誇大な宣傳  
をなし一疋二十三十圓に賣り付け  
る者が多い。  
「アンゴラ」の如きも、本邦では  
毛「レッキス」四一八圓に取引され  
るが、販路が極めて狭いので、副  
業向ではない。どうしても經濟的  
な副業向なのは「メリケン」イタ  
リアン」等が手頃であらう。  
今度内郷青年團產業部は、優良  
種兔を購入して繁殖し、一般家庭  
に分譲するの計畫である。

へない程の成功であつた。  
照井正之助氏  
磐城に十有余年勤続したる  
同氏は、家事の都合にて辭  
任上京、荏原區中延町三一  
六に居を下した。

日本評論社  
東京橋本三丁目  
郵次所 内郷村報社

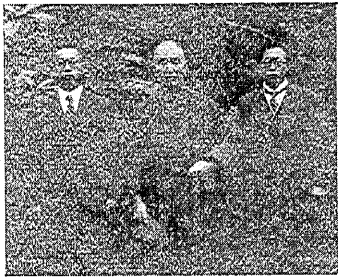
### 黒井將軍に

### 高教を仰ぐの記

北海道十勝水上川郡  
清水町清水山莊

大内 一郎

日露戦役に、海軍重砲隊を率ゐて旅順開城に、赫々たる武功をたてられた、海軍大將黒井勇次郎閣下は、往年練習艦隊司令官として、遠洋航海をせられた折、當時在米中の父が、御一行を御案内申上げられた關係から、我一家は、爾來今日迄、將軍の御眷顧を蒙るる光榮に浴して居るのである。そうしたお蔭で、去る三月十日に小生宛



一 郎 黒井將軍 二 郎

したりして来たところから、命ぜられたので、吾等兩人は、四月十日一番で上京し、品川驛に下車して、芝白金猿町の御屋敷に着いたのは、午前十時頃であつた。玄關のベルを押して、名刺をお取次きのお女中に通ずると、早速應接間に通される。邸宅の結構、室内の調度等の説明は之を略して、將軍の警咳に接した喜びの一端を、少しく書いて見やうと思ふ。

待つ間程なく、袴をつけられた、和服姿の將軍があらはれ「ヤアよく来たれ、サア掛けなさい」と、部屋一ぱいに響きわたる大聲で仰せられたので、御免蒙つて安樂椅子に腰を掛ける。誠に立派なお體格で、慈父の如き温顔に、笑を深げせながら、早速御話を始められる。されど眼光は正に射るが如く、往年を偲ぶに難くなく、又七十歳の御年とは思はれない御元氣である。「太陽は誠に有り難いものだ、人間はさうしても、太陽に成るべく接觸する様に努めなければならぬ。其百姓などは最もよい、老人になつてから、ホルモンの注射や、白髪染めだなど、騒ぎ廻つて居る者もあるが、誠にさういふ事だ。人間は死ぬべき時が来れば死ぬ。之れは當然だ、いろ／＼工夫して命を延ばして居つて、體が弱くて長生きした處で、價値のあるものではない。又さういふ事に關しては、若い時からよく考へて置いて、人間四十位迄はそれこそそんなに働いて、心配のないものだ。それ以後は年寄りの冷水の様に、冒險をする事は考へればならぬが、又固基だ、將棋本とすると、本當の隠居になる時、時と場所をよよく辨へて、之を參考とすべきはよい」と、之は多分二、三事件に對する、高

い健康法を信ずる」さ次から次へ、我等が將來に對する處世上の有り難い御教訓に驚かす處世上の用件を申上げる機会がなかつたが御紅茶をいたゞく時に一寸すぎがあつたので、記念誌の下副を御覽に入れて、題字の件をお願ひすれば、早速御快諾あり、尙厚がましくも、清水山莊へも何ぞも、恐る／＼申上げれば、無造作に「書かしく、」と仰せられ、更に御話は續く、「人間には経験が、大切な

### 御禮

謹啓  
先般長男一郎の婚儀に際して失禮なる披露の御挨拶を申上げたに、意も願も、微衷を嘉納せられ、意義深き御祝辭、若くは御教訓を賜はり、御懇情の程、千萬忝く、衷心より厚く御禮を申上げます。總てを蒙りまして永久に保存し、御芳志御高論を、敬仰遵奉する様にいたさせたいと存じて居ります。右略儀ながら紙上を以て御禮を申上げます。

追つて新妻儀、當分滞留の豫定を以て、一郎夫妻及二郎を伴ひ四月八日に渡道いたし、打揃ふて開拓に専念いたして居ります。御安心下さる様併せて御報告申上げます。 敬具  
昭和十一年五月吉日  
大内民恵

### 知友各位

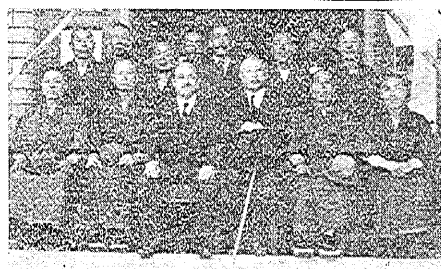
侍史

ものだ、而して自分の経験せぬことは、他人の語さか、書物さかによつて、それを參考として行く昔の人の言つたやうな事も、參考とするのはよいが、手本としては困る。明治維新の當時、志士達が身を抛つて、革新をしたからといって、昭和の今日、其が其儘手本とするのはよくない。時世、環境、時と場所をよよく辨へて、之を參考とすべきはよい」と、之は多分二、三事件に對する、高

### 北海道通信

清水山莊大内きみ

四月八日豫定通り郷里を出發、途中既定の行程をたつて、本朝五時無事十勝清水驛着、赤岡さん夫妻信雄さんの三人と、愛馬花咲號とに迎へられて、山莊にたどり着き先づ櫻號の大きくなつたのに一驚を喫し、初春號を始め、豚公、雞群、兎輩とつぎ／＼に久方振りでも對面、何れも一行の歸郷を喜び、如くめでありました。送つていただいた苗木や、植木は既に到着家の前と脇に植えられてありました。山莊をめぐる丘陵の櫻も、今や紅をさした様、間もなく花見が出来やうと思ひます。夜汽車は何れも満員、ために疲勞も甚しく朝食をすまず、何はともあれ一睡をさ、布団を出せば、これはも如何に、三四枚は鼠にかじらるる居り、二郎の寢巻も大穴小穴、イヤハヤ之は一仕事も二仕事もあるがつかかりました。よい氣持でぐつたりやすんで、起きた處二郎から、お母さんの所へ連れられた。一郎からは、天上から百雷の一時に落つるが様であつた笑はれまじり。私も如何に年寄つたか、わかれました。札幌に着く頃、汽車中で、豊川稻荷參詣の歸途だといふ婦人から、手前は宿屋を建て居るから、御差支なければ



一行一會年同田杉るけ於に前館念記翁野淺  
者記と長所副崎濱は央中

見の一つと察する。それからお話は、現代教育に移つて、「今日の教育は、人間の値打を作る事が出来ないうて、偏智の教育である甚だ遺憾の事だ。北海道開拓に結核、國家の爲に大にやれ、折あらば行つても見たいものだ」と仰せられ、當日將軍は、クラス會に御出席に

四月二十二日夜

### 内郷村報の

### 六大使命

- 一、政黨政治を推進して、地方充實主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總親和總努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。

- 四、村内の善事善行を奨励し、且之を獎勵す。
- 五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、餘餘力を以て、國民善導に當る。

# 内郷村報

天法人則  
從順ナ

せられますと、涙ながらに述懐するのであつた。

望まない者が、金や運動で地位を得やうとする處に、大きい無理があるのである。桃季言はず、下自ら蹠をな

派に其職責を全うして居る崇敬に値する人士も、決して少くはないが、又自惚心野心利慾等の權化ともいふ

本報發行は内郷一家の事業に於て、其の社務は子孫に傳ふる遺言を發するものなり。

本報發行所  
北海道十勝水上川郡清水町清水山莊  
大内民恵  
電話 〇五五五  
印刷所  
清水町清水山莊  
電話 〇五五五